



題字・絵・文／池原昭治氏

池原さんのプロフィールや
ほかの作品はこちら▼



48

このコーナーでは、昔から市内で語り
継がれている言い伝えなどを、池原さん
流の描画で紹介します。

月見ダングの訪
旧暦の八月十五日を「十五夜」といって
その年の収穫にたいして感謝をあ
らわす行事です。縁がゆにススキを
五本とお供の月見ダングを十五個
なぐべます。そのほか、柿・梨・リンゴ
かつまいもと丸いもの、この日は子ども
たちにとっては楽しい夜となります。今
さあ、先にクギ状のものもくっつけてお
供えものをこうやりといただきます。でも
誰もとがめたり怒ったりはしません。昔
より月見ダングは盗まれました。大人
縁起がよいとされていいます。大人
たちは「お月さまが食べたといっ
ています。」



編集後記

今月のもぐもぐsayamaの食材は、狭山の名産サトイモ
です。レシピを提供していただいている土田先生によると
十五夜にちなんで、お月見団子風にアレンジしたそうです。
先生との会話の中で「十三夜ってご存じ？」と聞かれました。
十三夜は日本独自の風習で、旧暦の9月13日を指し、十五夜
に続く事から「後の月」、栗や豆をお供えすることから「栗名
月」「豆名月」とも呼ばれるそうです。十五夜と合わせて「二
夜の月」と言い、両方の月を見ると願いが叶うと教えていた
だきました。

土田先生には、食材のおいしい調理方法だけでなく、食材
のルーツや文化まで教えていただき、毎回新しい発見に出
会えます。今年の十五夜は9月17日、十三夜は10月15日
です。ので皆さんもぜひお月見をお楽しみください。

広報さやまへのご意見・ご感想は
はがき・メール・FAXで広報課へ



〒350-1380
狭山市入間川1丁目23番5号



koho@city.sayama.saitama.jp



TEL 04-2953-1111
FAX 04-2953-1117



公式
ホームページ



公式
Facebook



公式X



狭山市LINE
公式アカウント
ID:@citysayama



マチイロ
「広報さやま」が
スマホで見られます！

